

## 2年次地域探究類型「学習成果中間報告会」を行いました！

【令和8年2月5、6日】



地域探究類類型は、地域に貢献する人材を育成することを目的に開設され、地域の方たちと交流するなど、本校の特色ある教育活動

<研究テーマ>

- (1)東濃中学校・高校の歴史と修学旅行
- (2)広見線開通に尽力した人々
- (3)広見線開通と広がる鉄道

として位置づけてきました。報告会では、この類型の2年次生が「廣瀬五郎さんの研究をたどり御

嵩町の未来を考える」というテーマで、東濃高校と広見線の沿革、加えて修学旅行の歴史(今夏、中山道みたけ館にて企画展として開催)を研究した成果を発表しました。この日は、御嵩町企画課・安藤様と町づくり課・栗谷本様、そして本校の学校運営協議会委員の皆様にも参観していただきました。以下、ご高評の一部です。



- ・難しい内容についても、学びを進め、自分のものとして理解して、堂々と発表する姿に感動した。
- ・この研究を各方面で話したり、意見を出したりすることが研究の更なる成果になっていくと思う。
- ・「歴史を学ぶ」「歴史を繋ぐ」という意味で、今回の発表は未来につながる大切な取り組みだと思う。



発表の翌日には、町の魅力を再確認するとともに、次年度の課題研究のテーマをより具体的にイメージするために、御嵩町内の各史跡(和泉式部廟

所・牛の鼻欠け坂・耳神社・謡坂の石畳・聖母マリア像・一呑みの清水)の巡検に出かけました。御嵩町の未来を考え、町の魅力を効果的に発信することを主眼に、引き続き「地域の学校」としての学びを深めていきます。

